

# Five for the Future

---

「未来のための5%」

スポンサー付きコントリビューターチームの構築

## スポンサー付きコントリビューション (貢献) とは

2014年にマット・マレンウェッグは、WordPress (CMS またはコミュニティ) の恩恵を受けている組織に対して WordPress プロジェクトの継続的な成功のためにリソースの5%を貢献することを呼びかけるため、[Five for the Future](#) を立ち上げました。奨励されてはいますが、5%は志の高い目標であり、貢献はコア開発からコミュニティのサポートまで多岐にわたります。

このホワイトペーパーでは、スポンサー付き貢献者チームの構築と維持について考察します。

## スポンサー付きチームの構成要素

WordPress のオープンソースプロジェクトに専従するために企業に雇用された人は、スポンサー付きコントリビューターとみなされます。組織においては Automattic のように特定のプロジェクトで働く60人のスポンサー付きコントリビューターがいる場合もあれば、コア開発に専念するコントリビューターが1人いる場合もあります。

スポンサー付きのコントリビューターが組織内で「チーム」を形成するほどに増えた時 (通常は3~4人程度)、その活動をどのように WordPress プロジェクトの全体計画や目標と調整できるかを考えることは、有益であると言えます。

## 組織にとってのメリット

スポンサー付きコントリビューターチームを持つことは、大規模な組織にとっては大きな挑戦かもしれませんが、オープンソースの理念に基づいて、見返りを期待せずに貢献することは難しいと感じるかもしれませんし、また、親組織に説明責任を求められることもあるでしょう。

オープンソースの利益と企業の利益は常に一致するわけではありませんが、スポンサー付きコントリビューターチームは定期的に WordPress プロジェクトのリーダーと主要な意見、そして優先的イニシアチブと調整を行い、プロジェクトの方向性についての洞察を提供します。このようなチームは、WordPress エコシステム内での新しいトレンドを先取りすることができます。

## コントリビューターチームの構築

01 コントリビューターチームが初めて作られた場合でも、新たな役割を担当する既存の内部チームである場合でも、チームリーダーと共に “Five for the Future” の公約 (pledge) への参加のメリットを話し合うことをお勧めします。

02 追加情報をご希望の場合、または WordPress のエグゼクティブディレクターであるジョセファ・ハイデン・チョムフォシーとの検討通話をご希望の場合は、彼女のチーフスタッフであるクロエ・ブリングマン (@cbringmann) までご連絡ください。

ジョセファがレビューできるトピックは以下の通りです。

- WordPressのロードマップ
- プロジェクト内の役割と責任
- 意思決定のベストプラクティス
- 質問と期待

03 WordPress の未来に向けて、[公約](#)を表明しましょう。